

# 技術科

教科名	技術・家庭科 技術分野	週 授業 時数	1学年 週1時間 2学年 週1時間 3学年 週0.5時間	年間 授業 時数	1学年 35時間 2学年 35時間 3学年 17.5時間
使用 教科書	「新しい技術・家庭」 技術分野(東京書籍)		副教材等	材料以外、特になし	
担当教員	1学年:前田俊二		2学年:前田俊二		3学年:前田俊二

## 1. 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次の通り育成することをめざす。

(1)材料と加工、生物育成、エネルギー変換、及び情報の技術について基礎的な理解と技能を習得し、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて理解を深める。

(2)生活や社会の中から技術にかかわる問題を見だし課題を設定し、解決する力を養う。

(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 2. 学習計画

学期	月	第1学年	第2学年	第3学年
1 学期	4	◇ガイダンス ・技術の授業について ・コンピュータのログイン方法 ◇技術と私たちの生活について ・技術の発達とわたしたちの生活の変化について調べる。	◇ガイダンス ・2年生の技術について  ◇私たちの生活とエネルギー ・エネルギー資源をどのように生活に生かしているか調べる。	◇ガイダンス ・3年生の技術について  ◇ウインドカーの製作 ・軽量でありながら、丈夫な車体づくりを考える。←丈夫な構造 ・風の力を、風に向かって進む力に変える仕組みを考える。←エネルギー変換、運動を伝える仕組み ・常に風が吹く方向に向かって進む仕組みを考える。←制御 ・製作に必要な部品・工具を考える。 ・製作の工程表を考える。
	5	◇製作品の設計 ・製作品の用途や使いやすさを考える。 ・機能と丈夫な構造を考える。 ・木材や金属、プラスチックの材料の特徴をまとめる。	◇電気エネルギーの変換と利用 ・電気を使うしくみを調べる。 ・電気エネルギーを他のエネルギーに変換する例をまとめる。 ・電気を安全に使う方法を調べる。	
	6	・構造図のかき方を理解する。 ・製作のための構想図を作成する。	・電気を安全に使う方法を調べる。 ・機器の保守点検のしかたを調べる。	
	<b>定期考査2</b>			
	7	◇モザイクボックスの製作 ・製作の工程表を作成する。  ・さしがね、のこぎり、かんなの使用実習を通して理解する。	◇ウッディタッチスタンドの製作 ・製作の工程表を作成する。  ・ニッパやラジオペンチ、はんだごての使用実習を通して理解する。	・自分の計画に従い製作を行う ・製作品の実験と修正。 ・製作品の発表会と評価をする
	9	・材料ごとの部品加工法を調べる。	・自分の計画にしたがい製作を行う。	◇生物育成と私たちの生活 ・生活や社会における生物育成、特に栽培の役割とその技術の進歩について調べる ◇栽培の計画 ・作物の生育と栽培に必要な栽培技術を調べ、栽培計画を作成する。
	10	・自分の計画にしたがい製作を行う。(材料どり、切断、部品加工) ・仮組み立ての後、組み立てを行う。	・部品の組み立てを行う。 ・組み立て後の検査と修正を行う。	◇大根とキクの栽培 ・栽培計画表を立てる。 ・苗を植える。 ・作物の日常の手入れを調べ実践する。
	11	・組み立て後の検査と修正を行う。	・製品の評価をする。	・作物がよく育つために必要な条件を考え実践する。 ・人や環境に優しい栽培法について考え実践する。

学期	月	第1学年	第2学年	第3学年
2 学期	11	定期考査4		
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の材料や使用目的に合った塗装をする。</li> <li>・製品の評価をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇製作品のまとめ</li> <li>・コンピュータを使って製作品のまとめと発表を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇栽培のまとめ</li> <li>・コンピュータを使って栽培のまとめと発表を行う。</li> </ul>
3 学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇技術と私たちの生活</li> <li>・環境にやさしいものづくりについて話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇技術とものづくりの未来</li> <li>・技術の発達の方向について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇Webページの制作</li> <li>・Webページによる情報の発信の特徴を知らせる。</li> <li>・自分の好きなものを紹介する画面を作成する。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇情報とわたしたちの生活</li> <li>・コンピュータが果たしている役割について考える。</li> <li>◇コンピュータの操作方法</li> <li>・作品のまとめレポート作りを通して文字や画像を入れる方法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇プログラミング</li> <li>・プログラミングとは何かを知る</li> <li>・プログラミング演習「ビスケット」「アルゴリズム」「スクラッチ」</li> <li>・それぞれのプログラムごとに簡単な発表会を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webページの作成から発信までの手順を考える。</li> <li>・テーマを決定する。</li> <li>・文字, 画像, 映像, 図, グラフなどの情報を収集する。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇情報社会と私たちの責任</li> <li>・生活や産業の中で, 情報が果たしている役割について調べ, 情報社会とわたしたちの責任について考える。</li> <li>◇プレゼンテーションの制作</li> <li>・プレゼンテーションとは何かを知る。</li> <li>・例をもとにして画面を作成する</li> <li>・テーマを決定する。</li> <li>・文字, 画像, 映像, 図, グラフなどの情報を収集する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ構成を考え, まとめる。</li> <li>・Webページを作成する。</li> <li>・発表会をする。</li> <li>・作品の反省・評価をする。</li> </ul>

## 2. 担当者からのメッセージ

- ・ものづくりや作業が中心の教科です。大好きな人も苦手意識のある人も一生懸命取り組んで、すてきな作品作りを体感してみよう。
- ・技術と生活や社会との関わりを知るとともに課題を見つけ、それを解決するための方策を考えるその楽しさも体感しましょう。
- ・評価は、授業中の様子や製作品、ワークシートやレポート、定期テストなどを総合的に判断します。